

ホテル・旅館経営を応援する情報紙

国際ホテル旅館

INTERNATIONAL HOTEL MANAGEMENT 2024.6/20 第569号

発行所:国際ホテル旅館 〒104-0061東京都中央区銀座8-15-15(株)プライダル産業新聞社内
発行人:米谷美咲 年間購読料11,000円(消費税込) TEL 03(6226)9580 FAX 03(6226)9578
https://ihr-news.jp

今号の主な内容

【今号のひと】
澤田 昌成氏
[アドバイザー] 代表取締役
日本酒を180ml缶で販売するKURA ONE
[東横INN]一部ホテルで販売スタート

客室扉のロックシステムにハッキングのリスク
ANHA 令和6年度定時総会を開催
日本初進出 パンヤツリー 7月ソフトオープン
アパホテル&リゾート(大阪なんば駅前タワー)12月2日開業
福岡・天神の新ホテル 運営会社Nishitsu One Styleを設立
富士スピードウェイに常設キャンプ場が誕生
コートヤード・バイ・マリオート広島 2027年開業へ
相鉄ホテルズ ザ・サブザージュ 横浜オープン

星野リゾート リゾナーレハク岳 メインダイニング全面改装
東京ベイ舞浜ホテル 没入感を楽しむ朝食会場
東急ステイ西新宿 レジャー需要にも応える客室仕様
ホテル日航プリンス京都 サステナブル・フレンドリーコース発表
蒲郡クラシックホテル「ラークーションの日」宿泊プラン

ダイブ 宿屋大学運営会社を子会社化
野外音楽イベントにキャンプカー提供
ノルウェー発のガーデンファニチャー 日本でも販売推進
廃食用油を航空燃料に 大阪のホテルで回収スタート

◆好評連載◆
デジタル技術を活用した宿泊運営の実践(藤原康氏)
「雇用流動化」時代のホテル人材「もろい人手不足」に備えろ(西谷良道氏)

客室扉のロックシステムにハッキングのリスク



▲非接触式カードロックは客室扉の主流だが…(写真はイメージ)

今春、海外から「世界中のホテル客室に使われているキーカードロックを、ハッカーが数秒で開錠した」というニュースが報じられた。世界的に普及している非接触式キーカードロックの一部モデルについて、そのロックを開錠・施錠できるカードキーの情報を取り出し、別のカードキーがロックのデータを書き換えて開錠してしまう、というのだ。ハッカーによれば、読み取り機もカードキーも特殊な製品ではないという。そして、ロックメーカーにこの技術を提供する企業も、問題になった機種・製品品を使用しているホテルにロックの再プログラミングや入れ替えを呼び掛けている。

オペレーターの事業とオーナーの財産も保護
ホテル客室のセキュリティが厳格化されるようになったのは、50年前に米国で発生した事件がきっかけと言われている。ある客室で手が滑って鍵を落とした。客室に突如侵入してきた男が鍵を盗んだ。その後、安全確保が確保できなかったホテル側を提訴。ホテル側は、

国際ホテル旅館 公式ウェブサイト
新URL
ihr-news.jp

【ホテル・旅館における対策】
アッサアブイグローバルソリューションズ ジャパン 代表取締役 深尾大地氏

まずはMifare Classic 1Kのカードキーの使用を取りやめ、最新のソフトウェアバージョンへの更新、カードキー発行機の買い替え、カードロックのファームウェア更新などの対策を講じ、高セキュリティカードキーへの速やかな移行を行ってください。

そして、今後1~2年以内には、AES暗号化規格に対応した高セキュリティのソフト・ハードに更新することを推奨します。

今、日本国内でも、ゲストもスタッフ(外注スタッフも含む)も、様々な国・地域の人々が集まっていることが珍しくありません。異なる文化やモラルを持つ人々が一か所の建物に集まっていることを踏まえて、セキュリティ対策を講じることをお勧めします。

技術的な解説は2面参照

ホテル運営会社・所有者のセキュリティ対策が急務に

ロックシステムやキー発行機の更新や入れ替えの可能性も

カードキーも磁気ストライプやチップベース等の時代を経て、現在はRFID(Radio Frequency Identification)や、電磁波を取り付け、宿客に鍵を提供する仕組みが広がったとされている。RFIDは従来の技術に比べて端末の経年劣化が起きにくく、管理システム上で権限を管理し設定・変更できること、スマートフォンのRFID機能にも展開可能なこと等から、ホテルなどの情報を書き換える非接触型ICカードのハッキングだ、RFIDを運用する上でこのリスク要素の一つが、ハッキングだ。悪意をもってロックシステムの情報を書き換える非接触型ICカードのハッキングは、RFIDの脆弱性が原因だと言われているが、今指摘されているホテルオーナーの財産を守るためのセキュリティ強化が重要な課題になっている。

最新のセキュリティ対策を講ずるよう

ホテルの客室のロックシステムは、宿客のプライバシーと生命や健康を守ることに加えて、客室内で犯罪や不正行為があった場合に発生する費用や損害を減らす役割も果たしている。ホテルオーナーの財産を守るためにも、最新のセキュリティ強化が重要な課題になっている。

ホテルの客室のロックシステムは、宿客のプライバシーと生命や健康を守ることに加えて、客室内で犯罪や不正行為があった場合に発生する費用や損害を減らす役割も果たしている。ホテルオーナーの財産を守るためにも、最新のセキュリティ強化が重要な課題になっている。



▲ホテル客室のキーカードロックは、カードをロックに差し込む接触式(上)から、ロックにかざす非接触式(下)が主流になってきた(写真はイメージ)

チェックイン

能登半島 地震の発生から、間もなく半年になる。石川県と福井県にまたがる約1000人を超える住民が避難所で生活を営む中、社会生活の再建を急務とする支援が求められる。県は先月20日、復旧・復興の基盤方針を示した復興プランの最終案をまとめた。この案には、一時的な特色ある生業の再建が挙げられ、農林水産や伝統産業の再建支援も含まれている。被災地の農産物を取り入れたメニューを開発・提供するレストラン、能登半島ホテル、旅館も増える。由緒ある「石川県金沢市」で、被災した現地の酒蔵・飲食店の営業再開に向けた様々な支援活動を行っている。

避難生活が長引く。復興活動の進捗が見込まれる中、支援活動も時宜やニーズに応じた持続的なアクションが求められる。

価格は23万6000円(税込)。公式オンラインストアや、全国の取扱店などで購入できる。一般家庭だけでなく、ホテル客室での利用なども想定している。「ベッドの寝心地と透色ないかと思う。小さなお子様と添い寝するのに十分な大きさで、背面にブラックの塗装を施すなどデザインにもこだわっている。ホテルの客室にもおすすすめ」と、CRASH事業部長・森拓郎氏。

▲一時的な目隠しなどに活用できる

め電力使用量を抑え、停電時も視界が確保でき、一時的に目隠しをしたい場所・シーンに最適だ。

販売推進事業部統括 マネージャーの井手口直人氏は「ホテル客室のバスルームや応接ルームのパーテーション等、使用中の視界を遮りたい施設に最適。工場の見学施設やコールセンター等、秘匿性の高い業務を一時的に公開したい場合等にも活用される」と語る。

金属製品のオンラインストア

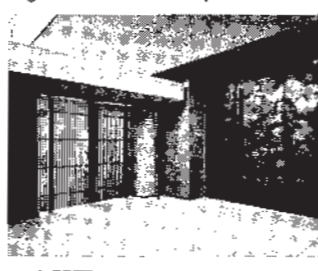
200を超える取扱商品

【アイチメタルトレーディング】



代表取締役 山田元氏

取扱商品の数は200を超え、グループ会社のアイチ金属(名古屋市中区)で製造した製品や、ドイツやオーストラリアなどの海外から輸入した商品も掲載する。粉末状の金属と特殊溶剤を用いて液化化した金属塗料「Verometal」や、無垢の真鍮・銅・鉄をパネル化させてエッジング仕上げを施した「Metal Panel」などがある。製品が購入できるほか、施工事例の情報も豊富に取り上げる。製品は、いずれも金属製の真鍮や銅など、変形加工がしやすい素材の製品を中心に取り扱っている。



▲アイチメタルトレーディングの取扱商品

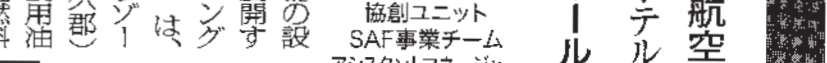
取扱商品の数は200を超え、グループ会社のアイチ金属(名古屋市中区)で製造した製品や、ドイツやオーストラリアなどの海外から輸入した商品も掲載する。粉末状の金属と特殊溶剤を用いて液化化した金属塗料「Verometal」や、無垢の真鍮・銅・鉄をパネル化させてエッジング仕上げを施した「Metal Panel」などがある。製品が購入できるほか、施工事例の情報も豊富に取り上げる。製品は、いずれも金属製の真鍮や銅など、変形加工がしやすい素材の製品を中心に取り扱っている。

デザイン性を重視する人や、金属にこだわりたい層に設定する。同社のインテリアブランド「CRASH PRO」

廃食用油を航空燃料に再資源化

大阪のホテルで回収スタート

【日揮ホールディングス】



サステナビリティ 協創ユニット SAF事業チーム アシスタントマネージャー 植村文香氏

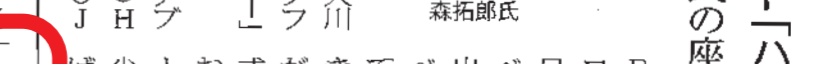
油を回収し、日揮HDとリサイクル事業のレボインタナショナル(京都市下京区)らが共同で設立したSAF FAIRRE SKY ENERGYに引き渡される。来春、国産SAF製造プラントの運転開始後にもSAFの原料になる予定。今後は全国の星野リゾートの施設へ拡大していく計画としている。

SAF(Sustainable Aviation Fuel)は廃食用油や植物・動物油脂、木質バイオマスを原料とし、原油由来の化石燃料と比べてCO2排出量を削減でき、ホテルにおいてもSDGsの取り組みとしても有効だ。

ソファベッド「ハスキー」発売

スライド式の座面で簡単操作

【関家具】



CRASH 事業部長 森拓郎氏

ECOT(クラッシュプロジェクト)の新商品。3人掛けのソファベッドで、座面を引き出すことでベッドとしても使用できる。座面がスライド式になっており、フレーム部分を少し持ち上げて手前に引き出すことで簡単に出し入れできる。ソファ背面の天板にはコンセントもついており、スマートフォンの充電はもちろん、小さなワークスペースとしても活用できる。

価格は23万6000円(税込)。公式オンラインストアや、全国の取扱店などで購入できる。一般家庭だけでなく、ホテル客室での利用なども想定している。「ベッドの寝心地と透色ないかと思う。小さなお子様と添い寝するのに十分な大きさで、背面にブラックの塗装を施すなどデザインにもこだわっている。ホテルの客室にもおすすすめ」と、CRASH事業部長・森拓郎氏。

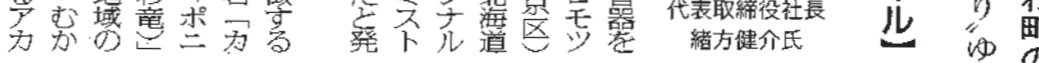


▲天板にコンセントも

北海道むかわ町のオリジナルアロマ

「当店の香りゆかりの植物精油など」

【プロモツール】



代表取締役社長 緒方健介氏

香料および放音器を製造販売するプロモツール(東京都文京区)は、3月20日、北海道むかわ町のオリジナルアロマ・アロマミストを開発・発売したと発表した。

香りは町を象徴する恐竜全身骨格化石「カムイサウルスジャポニクス(通称:むかわ竜)」に着想を得て、地域の自然を表現した。むかわ町の町木であるアカ

町の地域商社であるM.Dino(北海道勇払郡)と共同開発したもので、町の地域資源である恐竜を活かしたとらえと納税の返礼品として企画された。香りの見本を数種類用意し、昨年9月にイベントで、町民投票を実施した。町民投票を実施する等、町民の意見も取り入れながら商品化を進めた。

むかわ竜は2003年から発掘され、全身の骨が見つかってきたことから、町のシンボルに位置づけられている。現在では返礼品のほか、町内の道の駅や博物館、周辺地域の観光施設等でも販売されている。プロモツール代表取締役社長の緒方健介氏は「当社はこれまで、香りによるブランドینگや空間デザイン等の事業を展開してきたが、全国の市町村の『ご当地の香り』を創るプロジェクトは今回のむかわ町が初の試みになる」と語る。



▲アロマミスト

能登半島 地震の発生から、間もなく半年になる。石川県と福井県にまたがる約1000人を超える住民が避難所で生活を営む中、社会生活の再建を急務とする支援が求められる。県は先月20日、復旧・復興の基盤方針を示した復興プランの最終案をまとめた。この案には、一時的な特色ある生業の再建が挙げられ、農林水産や伝統産業の再建支援も含まれている。被災地の農産物を取り入れたメニューを開発・提供するレストラン、能登半島ホテル、旅館も増える。由緒ある「石川県金沢市」で、被災した現地の酒蔵・飲食店の営業再開に向けた様々な支援活動を行っている。